

令和8年度事業計画

1. 基本方針

昨年の外国人旅行者数は、約4,268万人でコロナ前の前年比15.8%増であった。これは今までの最高値である。今年の外外国人旅行者数は、経済成長を背景に訪日旅行者は増加するものの、中国・香港からの需要減により、全体人数ではわずかに下回ると予想される。一方、滞在期間の長い欧米豪からの旅行者の増加により、消費額は前年を超える見通しである。世界的に見てもビジターの往来は一段と活発化しており、国連世界観光機関（UNツーリズム）の発表では2025年の国際観光到着数は前年比4%増加し年15億2,000万人に達した。

訪日外国人旅行者の動向に関しては、旅行者自らYouTube、動画等SNSを通して発信しており、日本の有名観光地のみならず、個別の人気飲食店やアニメの舞台等その動きは多様化し範囲は拡大している。一般の日本人もテレビや新聞等のマスコミだけでなく、これらのSNSをみて新たな観光魅力を発見するとともに、オーバーツーリズムの問題も拡散しており、適正な対応が求められる。

当財団は、平成6年以来32年間、外国人観光案内所の運営をしてきている。現在は、成田国際空港株式会社、株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス、千葉県からの委託を受けて、JR東京駅、成田国際空港第1、第2ターミナルにおいて業務を行ってきているが、カウンターへの来訪外国人も増加しており、本年も旅行者にとって頼れる観光案内所であり、インバウンド受入れの最前線としてとして業務を実施することにする。

また、その他、外国人旅行者から要望のある地域の情報及び資料収集に努めるとともに、国際観光の専門誌として月刊「国際観光情報」及びインバウンドの歩みをまとめた「国際観光のあゆみ」を作成することとしたい。

本年度は、引き続き外国人観光案内所の情報提供・案内業務の充実を図ることはもちろん、国内における外国人観光客の動向や地域の外国人受入態勢整備状況等が、注目され、その重要性は一層増してきている。また、本年は一般財団法人地域伝統芸能活用センターとの吸収合併の件が進んでおり、その場合は一部事業を継承することに

もなる。私共は引き続き、国、J N T O 及び成田国際空港株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社 J R 東日本びゅうツーリズム&セールス及び千葉県のご協力のもとに、業務を着実に遂行していくこととする。

2. 令和8年度事業計画(案)

(1) 外国人観光案内所の運営事業

私共の外国人観光案内所を訪れる外国人旅行者は大幅に増加した。来訪外国人の国籍はアジアを中心に米国、豪州などであり、入国外客の国籍別の順位と類似している。質問内容については、来訪者の行動範囲が拡大し J R パスの交換、地方の観光スポット、交通アクセス等質問が多様化しており変化しているが、航空券やカードの紛失、金銭関係、忘れ物、手配ミス等緊急の困りごとや相談がかなり増えており、個々の対応に時間がかかる。無料でこれらの事案に対応しており、来訪者からは驚きと感謝の言葉が寄せられている。(国際観光情報「案内所事例」参照)

本年度も当財団は、成田国際空港第1ターミナル到着ロビー、同空港第2ターミナル到着ロビー及び J R 東京駅丸の内北口の「駅たびコンシェルジュ(東京)」において業務を行う。

- 成田国際空港第1ターミナル到着ロビー：

外国人向けの案内情報コーナー **Visitor Information Center** では、質問内容も空港から都内や観光地への移動方法や宿泊等の質問が多いが、緊急困りごとへの対応が増加している。カウンター訪問者は一か月約2万3,000人となり、増加傾向は続くと思われる。

- 同空港第2ターミナル到着ロビー：

第2ターミナル到着ロビーは日本の表玄関であり、質問内容も空港から都内や観光地への移動方法や宿泊等の質問が多いが、緊急困りごとへの対応が増加している。カウンター訪問者は一か月約1万7,000人となり増加傾向は続くと思われる。

- 千葉県の観光案内所

千葉県より委託を受けた千葉県観光案内所。訪問者数は1日約100人、カウンター1名で対応している。開所時間は9時から18時。

- 東京駅丸の内北口のＪＲ東日本駅たびコンシェルジュ東京内

全国に向けて旅行する起点となっており、ＪＲパスの交換方法、ＪＲパスの旅
程作成や地方の観光地情報、購入チケットの種類及び宿泊、両替などのサービス
を提供する。来訪者は一か月約１万人である。外国人観光案内所の開所時間は、
９時から１８時（９時間）。

（２）その他事業

①出版事業

- 「国際観光のあゆみ」（昭和５６年～令和７年）の作成

観光庁・ＪＮＴＯ・センターの取り組んできた外国人受け入れ体制と、世界の観
光の動きを中心に、観光立国日本のあゆみを概観する書

- 「国際観光情報」等の作成配布

国際観光の専門誌として引き続き月刊「国際観光情報」の作成配布を行う。

②国際観光に関連する調査研究事業

国連世界観光機関（ＵＮツーリズム）、国際航空運送協会（ＩＡＴＡ）及び世界旅
行ツーリズム協議会（ＷＴＴＣ）の最新情報の収集と翻訳を行う。

③特別事業

ホームページの改修

（３）総務関係

現在、当財団は一般財団法人伝統芸能活用センターの事務所に間借りしているが、
同センターとの吸収合併に伴い新たな事務所に移転することとする。

時期は７月頃を予定。